

平成 18 年 12 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 18 年 5 月 15 日

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー (JASDAQ・コード番号：2777)

(URL <http://www.cassina-ixc.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 月岡 和夫

問い合わせ先 責任者役職名 取締役執行役員管理本部長

氏 名 小林 要介

(Tel：(03) 5725-4171)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処 理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 18 年 12 月期第 1 四半期業績の概況（連結）（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（表示単位：百万円未満切捨て）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,575	(10.0)	287	(38.7)	252	(23.0)
17 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,340	(△7.3)	207	(△24.9)	205	(△25.9)
(参 考) 17 年 12 月 期	9,943		1,115		1,090	

(注)パーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

(ご参考)

平成 18 年 12 月期第 1 四半期業績の概況（個別）（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（表示単位：百万円未満切捨て）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,562	(9.5)	256	(37.9)	250	(33.8)
17 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,339	(△0.5)	186	(△28.9)	187	(△28.8)
(参 考) 17 年 12 月 期	9,932		1,004		981	

(注)パーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗情報に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成18年1月1日～平成18年3月31日）におきましては、昨年新規に出店したカッシーナ・イクスシー プライベート店（平成17年3月オープン）、アレッシィショップセントレア（平成17年2月オープン）、アレッシィショップ大阪（平成17年10月オープン）の寄与により直販小売部門が増収となったほか、マンションデベロッパーを主力顧客とするレジデンシャル部門が昨年引き続き好調を維持していることにより流通小売部門も堅調に推移いたしました。しかしながら、コントラクト事業（設計事務所、デザイン事務所経由の販売）においては引き合いの件数、規模に手ごたえを感じ始めているものの、第1四半期時点での回復には至りませんでした。そのほか、平成18年3月には名古屋松坂屋本店に販売コーナーを展開し、経済成長率の高い名古屋地区における販売基盤を強化いたしました。この結果、当第1四半期の連結業績につきましては、売上高2,575百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は287百万円（前年同期比38.7%増）、経常利益は252百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

また、セグメント別事業の状況は以下のとおりです。

① 家具事業

家具事業においてはカッシーナ・イクスシー プライベート店が認知度の向上や1周年記念イベントなどの実施により順調に売り上げを伸ばしたこと、また大阪店が前年同期比で大きく増収したことなどにより、販売地域による差はあるものの全体として順調に推移いたしました。当第1四半期の売上高は2,252百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は385百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

② 生活雑貨事業

生活雑貨事業におきましては、平成17年10月にアレッシィショップ大阪の新規出店を行ったことなどにより増収となりましたが、出店に伴う賃借料などの経費を吸収できず赤字となりました。売上高は292百万円（前年同期比9.9%増）、営業損失は11百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

③ その他の事業

イベントスペースのレンタル事業において、キャンセルなどにより稼働率が若干低下した結果、売上高は30百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は3百万円（前年同期比72.2%減）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成18年12月期の連結業績予想

当該四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成18年2月28日発表の平成18年12月期（平成18年1月1日～平成18年12月31日）の通期の業績予想に関して変更はございません。

以 上